



# 水稻生産情報



JA つがる弘前  
弘前中央地区営農係

今後気温は平年より高く推移する見込みですが、突発的な低温にも対応できるよう天気予報をこまめに確認しましょう。また、環境の変化に負けない苗(⇒健苗)の育成に努め、田植え後の活着促進、初期生育の確保を目指しましょう。

## 1. 育苗期間の管理

●1.5~3.0 葉 (4月29日~5月12日) 日中25℃・夜間5℃

### <ハウス育苗>

- 灌水：苗の葉先が巻き始めた頃、朝方にたっぷり行ってください。培土や育苗環境で水持ちが変わるため、箱内の水分をこまめに確認しましょう。
- 追肥：葉色が淡くなった場合、1箱当たり硫酸5gを500ccの水に溶かし灌注しましょう。追肥は灌水前に行い、追肥後は必ず水洗いを行い、葉焼けを防ぎましょう。




～徒長を抑える『苗踏み』～  
・健苗育成を心がけても徒長しそうな場合は、1.5葉期頃から、苗踏みを行いましょう。葉の伸びが抑えられ、根張りが良くなります。

●3.0 葉~田植え (5月13日~5月19日) 日中20℃・夜間5℃

田植え5日前頃からハウスや苗代のビニールを日中は全面開放し、夜間は霜が降りる時以外は上部のみ覆い、両裾は空けて苗を外気にならしめましょう。


## 2. 田植えのポイント

●天候  
・温暖で穏やかな日  
(代枯れ防止、活着促進)



●栽植密度 (坪当り)


- ・つがるロマン…80株
- ・まっしぐら…80株
- ・青天の霹靂…70株



●植付本数、植付深さ

- ・中苗で3~5本
- ・深さ3cm程度

※補植時、多く植えがちです。



●病害虫防除

薬剤名	使用量	使用時期	対象病害虫
パダン粒剤	80g/箱	田植当日	イヌシジメ イモチ病
ブイグットバイソン粒剤	50g/箱		イヌシジメ イモチ病

※青天の霹靂作付者は『パダン粒剤』のみ使用可能です。

↑ みんなドロオイムシです  
※昨年は多発した方は箱粒剤を使用しましょう。

## 3. 除草剤散布

農薬節減米の区分がなくなり使用できる剤がふえました。 ※青天の霹靂作付者は『ゼータタイガー』のみ使用可能です。

体系	薬剤名・使用時期	
一発処理	4成分	<b>初中期一発剤</b> ・シリウスエグザ 1kg粒剤 (田植直後~ノビエ 2.5葉期) ・シリウスエグザフロアブル (田植直後~ノビエ 2.5葉期) ・シリウスエグザジャンボ (田植直後~ノビエ 2.5葉期)
	3成分	<b>初中期一発剤</b> ・ゼータタイガー 1kg粒剤 (田植直後~ノビエ 3葉期) ・ゼータタイガーフロアブル (田植3日後~ノビエ 3葉期) ・ゼータタイガージャンボ (田植3日後~ノビエ 3葉期)
体系処理	初期剤	・ソルネット粒剤 (移植7日前まで、移植直後~5日後まで) ・エリジャン乳剤 (移植直後~5日後まで)
	中期剤	・レプラス 1kg粒剤 (移植後14日~ノビエ 4葉期まで) ・セカンドショット (ジャンボ剤) (移植後14日~ノビエ 3.5葉期まで) ・マメットSM粒剤 (田植後10日から、稲5葉期以降)

●除草剤を効かせるポイント！

- ①水漏れがないか畦畔などを確認しよう。
- ②代かきは丁寧に、均平にしよう。
- ③代かきから10日以内に散布しよう。
- ④散布後、水深5cm以上を3日以上保とう。
- ⑤水持ちが悪い水田では粒剤を使用しよう。

## 4. 田植え後の管理

苗の活着促進、早期に分げつを確保するためにも、昼間止水・夜間かんがいを基本に、暖かい日は浅水(2~3cm)、寒い日は深水(4~5cm)管理を行いましょう。

